

日本教育カウンセリング学会 自主シンポジウム模擬授業

コミュニケーションカード 2009.11.28

ファシリテーション：曾和幸子、深美隆司

* 貴重な模擬授業ありがとうございました。少ない時間の中で、本当に大切なところ、ポイント、エキスを伝授してくださり、とてもいい時間でした。何とかして元気にしてやりたいという気持ちが伝わってきました。どうしようもないと言われている子にも温かいまなざしを感じました。関係づくりにとり入れるエクササイズ（ほとんどゲームしか使えていませんが）を系統的に示してあるのがとてもありがたく思います。やわらかい大阪弁にのせて明るい元気をいただける時間をありがとうございました。これからもご活躍ください。

* 具体的な取組を知ることができて、大変勉強になりました。また、小中連携、小小連携のつくり方についても示唆をいただいたと思います。ありがとうございました。

* 授業者のアサーションが大切であるということがわかった。よい授業は、よい教師によって成立しますね。その意味で教師は向上しなければならないと実感しました。

* G.C.の実践がとても参考になりました。私の職場（高校）でも行いたいと思いました。

* 途中からの参加でしたが、すぐくためになりました。有り難うございました。

* 模擬授業良かったです。ほんねの関係を改めて体験しました。

* 生徒役に選んでいただいた時点でも、緊張感があったのですが、間近でストレスゲームをする方たちを見ているだけで、手に汗にぎり、心拍数の上がることを感じました。みんなで共通のドキドキする体験、そのストレスを互いに語り合う体験って教室でできると、親和的な学級集団になったりするなと思いました。

* 論文集をパラパラして、どこに参加しようかな・・・と余り深く考えずに飛び込んだシンポジウムだったのですが、・・・「今日は、来て本当に良かった」と思いました。何が？と聞かれたら、3日くらいかかりそうです。今、本校で抱えている困難にズバリ答えを出していただいた思いです。学校に戻って試みたいです。曾和先生、深美先生ごころうさまでした。ありがとうございました。

* とても分かりやすく、今後の授業の際の参考にさせていただきたいと思います。高校生は思春期でも大人になりかけているので、授業を行うときは私自身が普段の授業よりも少し幼い感じで、開示（自己）をたくさんしています。ただ、「教師が楽しいと感じなければ子どもも楽しいと感じない」とのお言葉がしっくりきて、納得しました。教科指導とも結局は同じ事なのだと思います。ありがとうございました。

* 大阪府松原第七中学校の実践、本当に素晴らしいです。実践方法や成果をどんどん発信してください。

* 「けろりん」ことMです。子どもたちの姿を思い浮かべながら授業を受けさせていただきました。子どもたちの変化が絶対見られるだろうと思います。これが学校全体で取り組めるなんて、なんて幸せなんだろうと思います。

* 模擬授業があったので、わかりやすかったです。もっと活動についてたくさんの情報を得て、授業改善を図りたいと思います。

* しっかり参加させていただきました。ありがとうございました。色々、高校でも使えそうな実践がたっぷりあり、是非とも盗ませてください。

日本教育カウンセラー学会、事務局長の東則孝さんが、構成的グループエンカウンター：CGのHPにその時の様子をアップしてくれています。

<http://www.toshobunka.jp/sge/sodateru/gc4.htm#ji-gakko>